



水のリサイクルで住みよいまちづくり

公共下水道へ早期接続のお願い

町では、快適で住みよいまちづくりのために公共下水道整備を進めております。供用開始になりました区域については、できるだけ早く公共下水道に接続していただくようお願いいたします。

整備された下水道も、地域に居住する皆さまが積極的に活用していただければ、効果は期待できません。下水道への早期接続にご理解とご協力をお願いいたします。

下水道の役割について

●家の環境が良くなります！  
水洗トイレが使えるようになり、清潔で快適に暮らせるようになります。

町は環境が良くなります！

排水を水路や側溝に垂れ流さなくなるため、悪臭や蚊、ハエなどの発生を抑える効果があります。

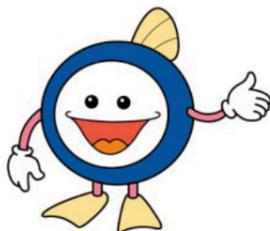
川や海がきれいに！

排水は下水処理場できれいに処理されます。

排水設備について

排水設備とは、台所・お風呂・トイレなどから公共汚水マースに接続するまでの配管などのことです。

この排水設備の工事費について



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

表1

Table with 2 columns: 区分 (Category) and 算定方法 (Calculation Method). Categories include '上水道のみを使用する場合', '井戸水や地区の水道を使用する場合', and '上記の水を併用して使用の場合'.

を提出(指定工事店が行います) ⑤町の担当者と施工した指定工事店の責任技術者の立会いの下、完了検査を行います。

水洗便所改造工事費等助成制度

町では、下水道への接続の普及促進を図るため、公共下水道処理区域内において、下水道への接続工事を実施される人に対し、交付要件および表2に該当する場合、助成金の交付を行います。

◎交付要件

- 処理区域内の一般家屋の所有者またはその同意を得た使用者で町内居住者であること。
●町内に居住する成年者で独立の生計を営む人。
●町税および下水道受益者分担金を滞納していない人。

表2

Table with 3 columns: 工事種別 (Type of Work), 助成金額 (Subsidy Amount), 備考 (Remarks). Categories include 'くみ取り便所からの改造工事', '単独浄化槽からの改造工事', and '合併浄化槽からの改造工事'.

●下水道供用開始の日から3年以内に下水道への接続が完了された人。

漏水などについて

すでに下水道を使用されており、水源が、地下水及び簡易水道の方で、漏水などの疑いがある場合はお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

建設下水道課 下水道係 52・5862(直通)

土砂災害から身を守るための備えを

6月1日から6月30日は 土砂災害防止月間です

これから集中豪雨などが多くなる時期となります。地震の影響により、例年よりも土砂災害が起こりやすくなっている恐れがあります。

土砂災害被害を防ぐために、土砂災害について知り、日ごろから備えをしましょう。

土砂災害とは

土砂災害は次の3つに分類されます。

①土石流

山腹や川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものを言います。

②がけ崩れ

地中に染み込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを言います。

③地すべり

斜面の一部、あるいは全部が地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面下方に移動する現象です。

土砂災害から身を守る3つのポイント

①住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」であるかどうかを確認する

土砂災害発生のおそれがある地区は「土砂災害危険箇所」とされています。

各家庭に配布されている洪水ハザードマップ(氷川町ホームページ)にも掲載で、自分が住んでいる場所が土砂災害危険箇所ではないか、確認しましょう。

★土砂災害危険箇所ではない場合も、付近に「がけ地」などがあれば注意をしましょう。

②雨が降りだしたら土砂災害警戒情報に注意する

降雨時は、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、降雨による土砂災害の危険が高まったときに、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や、自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表している防災情報です。

土砂災害警戒情報はテレビやラジオの気象情報、気象庁・熊本県のホームページなどで確認することができます。

★大雨による電波障害や停電などに備えて、携帯ラジオを準備しておきましょう。

③土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所(下記の緊急避難場所一覧を参照)などの安全な場所に避難しましょう。

強い雨や長雨のときなどは、町の防災行政無線や広報車による呼びかけに注意し、お年寄りや障がいのある人など、避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難す

ることが大切です。日頃からの備えをしましょう。

いざという時のために避難経路や場所、非常時に必要な物などを準備しておきましょう。

各家庭に配布されているハザードマップには避難場所や避難時のポイントが記されていますので、事前に確認しておきましょう。



土砂災害の情報を入手しましょう

◆熊本県統合型防災情報システム

http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/

熊本県が観測している県内164箇所の最新の雨量・土砂災害危険度情報をパソコンで閲覧できます。

◆気象庁ホームページ

http://www.jma.go.jp/

大雨警報発表中で大雨による土砂災害の危険度がさらに高まった場合に「土砂災害警戒情報」が発表されます。

◆非常時元出し品チェックリスト◆

- ☐非常食 ☐携帯電話 ☐雨カッパ ☐飲料水
☐杖 ☐軍手 ☐携帯ラジオ ☐ロープ
☐緊急医療品 ☐懐中電灯 ☐ビニール袋 ☐小銭
☐常備薬 ☐ろうそく ☐ティッシュ・タオル
☐健康保険証 ☐ライター ☐上着・下着

緊急避難場所一覧

Table with 3 columns: 施設名称 (Facility Name), 住所 (Address), 電話番号 (Phone Number). Lists various evacuation centers like '竜翔センター', '文化センター', etc.

昨年度の6月P19に類似記事があります。